

三重地区

子どもから高齢者まで、元気な地域づくり

社会福祉協議会

《発行日》令和2年11月1日
《連絡先》社協 地域福祉課 Tel.22-6677 fax22-3118



※戸別配布用 大事に保管してください。

サロンリーダーさん！集まって！



7月14日(火)に「サロンリーダーさん！集まって！」を感染予防をしながら開催し、33サロンより49名の方が参加してくれました。内容は、レクリエーション講習会の予定を変更し、コロナ禍での対応を中心とした学習会を開催しました。6月よりサロンが徐々に再開されていますが、まだまだ再開するにあたって不安なことが多いと話を聞きました。そこで、市社協より改めて「いきいきサロン再開するにあたってのお願い」の説明を受け、再開にあたっての不安の解消に努めました。また、昨年度、三重町チャリティーショーの益金を三重地区社協に配分していただき各サロンに助成金を配付させていただきました。



助成金交付 サロン再開説明 サロンじかたろう会紹介

10月21日(水)、23日(金)に料理研修会を開催しました。2日間で26サロンより47名の方が参加してくれました。三重町食生活改善推進協議会の協力を得てサロンで作れる料理実習を行いました。これからのサロンでも是非、活用してもらいたいと思います。



※サロンじかたろう会(え)の訪問記を豊後大野市社会福祉協議会のホームページに随時掲載していますので、ご覧ください。

いきいきサロン
再開にあたってのお願い

「地域の開い」が6月より再開され、市が新型コロナウイルス感染症対策の予引きを作成しました。それをもとに、サロンでも「驚をつけよう、心がけよう10のこと」を要としました。幸にしていただければ幸いです。

1参加人数	※参加人数の目安※ ※60歳未満の人数を占める割合は4割 会場に入る人数を (例)縦横4m×4m(奥行11m、奥行き4m)の会場 90席×4席=24席→小人数を想定すると 24名が上限となります。
2マスクの着用	会場はマスク着用をしましょう
3手指の消毒	入室前の2回はしましょう
43密の防止	密閉、密集を避けましょう
5短時間の開催	つむる話も短めに切り上げましょう
6換気	1時間以上行いましょう 天気の良い日はドアを開けたまま行いましょう
7飲み物の持参	各自で水筒等を持ってきましょう
8ゴミの持ち帰り	ゴミは袋詰めして持ち帰りましょう
9施設の消毒	手でよく触れるところを消毒 しましょう
10出席簿の記入	方々に備えて当日参加者の出席 をしましょう →※参加費を 支払っていただく ※用ください

ご不明な点や気になることがあれば、お気軽にご連絡ください。
皆さんが安心して楽しめるサロンとなるよう、社協も応援します！

地域での支え合い活動の紹介！！



今、全国で思いをカタチにする地域づくり(地域支え合い活動)が展開されています。豊後大野市内でも、三重地区社会福祉協議会としましても、この地域支え合い活動が広がることを願っています。そこで今回の広報紙で先進地でもある竹田市の地域支え合い活動の紹介をさせて頂きたいと思い、広報部にて竹田市へ取材へ行ってまいりました。

「住民同士で支え合う」地域づくりのお手伝い 暮らしのサポートセンターについて

暮らしのサポートセンターは、地域住民の支え合いの気持ちを基本とし、安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して活動しています。暮らしのサポーター養成セミナーを受講した地域の方を中心に、介護保険などの公的サービスだけでは補えない、暮らしのちょっとしたお困りごとを、できる時にできる範囲でお手伝いします。

寄り合い場
いつでも誰でも気軽に立ち寄ることができる「地域のお茶の間」

くらサポ広場
介護予防教室や健康づくり教室、レクリエーション、楽しいゲーム、カラオケ など

「ちょっと困り」のお手伝い(有償生活支援サービス)
買い物支援、家事援助、話し相手・見守り、外出支援、ゴミの分別、ゴミだし、季節の衣類整理、草取り・草刈り、軽農作業 など

・竹田市では、住民主体で「暮らしのサポートセンター」を運営しています。平成24年当時の高齢化率が41%で超高齢社会へ加速している状況でした。そのような中で今後について考え、75歳以上の方を対象に生活課題実態調査を実施しました。調査結果から、集いの場や「ちょっと困り」のお手伝いが必要との声が多くありました。そこで、竹田市では平成24年に「第1号の暮らしのサポートセンター」が設立され、現在は、竹田市内に中学校区エリアで7カ所に設立されています。地域住民の支え合いにより安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して活動されています。

※上記の資料は、竹田市社協のホームページより抜粋させていただきました。



三重町でも地域の互助のお手伝い役として**地域支え合い推進員**が配置されています。住み慣れた地域で、いつまでもいきいきと元気で過ごすことができるよう、皆さんと一緒に地域づくりを考えていきます。「地域で何か支え合いの取り組みをしたい！」だけど、どうやっていけばいいのか分からないなど、何でも結構です。豊後大野市社会福祉協議会まで気軽にお声がけ下さい。



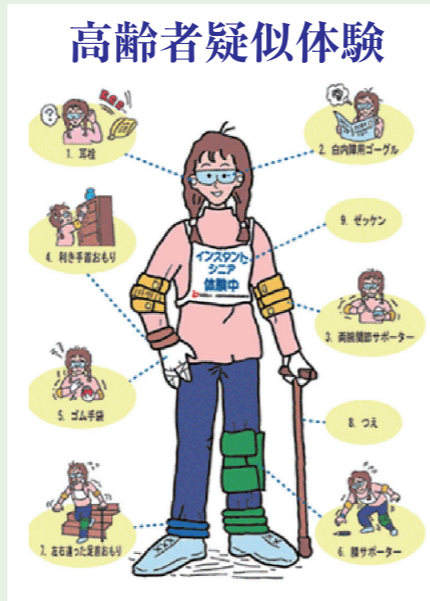
地域支え合い推進員

福祉学習会 !! in 三重第一小学校



10月22日(木)に三重第一小学校の4年生62名を対象に「福祉学習会」を開催しました。例年、「福祉体験学習」として、高齢者の疑似体験、車椅子体験を行っています。今年も、児童のみんなが一人一人体験してもらい実感してもらいたいと思いましたが、感染症予防を考えるとこれまでのような体験形式では実施できないので、今年度は学習会形式で解りやすい内容(高齢者のことや福祉用具、認知症等)で実施しました。是非、今回学んだことを今後役に立ててもらいたいと思います。

三重第一小学校4年生
福祉学習会
豊後大野市社会福祉協議会
日時:令和2年10月22日(木)
10:35~12:00
場所:三重第一小学校 体育館



豊後大野市老人クラブ連合会三重町支部より



老人クラブ連合会三重町支部におきましても、新型コロナウイルスの影響を受け、色々な事業が中止となっております。その中でも、三重町支部では7月に「花壇コンクール」,9月に「花壇コンクールの表彰式」、「花の管理学習会」として出来る事業は開催しています。

「花の管理学習」は久々に皆さんが集まり感染予防対策をしながら開催することができました。三重町支部では、今後の事業も中止するのではなく、どのようにしたら開催できるかを役員にて協議していきたいと思ひます。



7/2の花壇審査会の様子

今年の花壇はみんな立派だなぁ~!



9/30表彰式及び花の管理学習会の様子

(株)川邊組様より永年に渡り老人クラブ三重町支部の会員全員に敬老の日にお茶を頂いております。感謝の意を込めて、9月25日に支部長、事務局長で訪問させて頂きました。



(株)川邊組訪問

赤い羽根共同募金



10月1日(木)から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。三重地区社協も助成金を受けており、広報紙の発行やひとり暮らし高齢者ふれあい交歓会を行っています。

10月7日(水)15:00~トキハインダストリー三重店にて街頭募金運動が行われ、赤い羽根サポーターとして構成員の森迫委員が参加しました。たくさんの皆さまのご協力を頂きまして、ありがとうございました。



第35回ひとり暮らし高齢者ふれあい交歓会の開催中止について

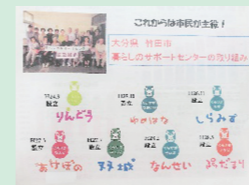


三重地区社協では、例年通り12月に「ひとり暮らし高齢者ふれあい交歓会」の開催に向けて計画をしておりました。しかし、今年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮しまして、誠に残念であり、毎年楽しみにされている方々に申し訳なく思いますが、中止の判断とさせていただきます。



三重地区社協としては、「皆さんが集まる事が出来なければ、何か他に出来ることはないか?」と考え、他に出来る形を計画していますのでお楽しみにして頂けたらと思います。

編集後記



竹田市社協へ取材中の様子です。

広報部 部長:高野 幸雄、委員:森迫 喜代美、委員:小野 征子、担当:廣瀬 慶太

稲刈りもやっと終わり、彼岸を過ぎて急に寒くなりました今日この頃です。今回、広報誌作成で竹田市社会福祉協議会に取材に伺いました。担当の高木さんと新人3名の温かい対応でご協力をいただきました。「暮らしのサポートセンター」立上げから取組状況などを高木さんの熱い思いを交えて伺いましたので、是非取材記事をご覧ください。豊後大野市にも、支え合いのより良い体制が出来ればと感じました。竹田市社会福祉協議会の皆さん取材協力ありがとうございました。